



はたち
『二十歳の集い』の受付をサポート
～鼎中学校ジュニアボランティアステーション～

これからの地域を支える一員としてお手伝いしていこうと思います。中学生も一緒になって計画の段階、準備の段階に参加させていただければ、さらにこの活動が充実していくと考えています。計画する仲間に加えていただければ嬉しいです。鼎中学校ボランティアステーションへの申し込みをお願いします。
(鼎中学校)

コラムかなえ

受付やステージの準備などをお手伝いさせていただきました。実行委員の方々の活動を見させていだいて、今度は自分が二十歳の集いの実行委員をやってみたいと、考える生徒もいました。このような節目となる行事に中学生が参加することは、地域で活躍している皆さんの姿を間近に見ることができ、良い機会になっています。

CONTENTS

- 地域振興
特別企画 歴代会長に聞く!
- 生活安全
1年間のまとめ、視察研修ほか
- 健康福祉
健康講演会、各支部事業の報告ほか
- 環境衛生
2年間の活動を終えて
- 消防団
署団合同訓練、出初式ほか
- 子どもを育む
1年間の振り返り、各地区の活動



特別企画
まちづくり委員会
歴代会長に聞く！
まちづくり・地域振興

平成19年に施行された自治基本条例により「自治活動組織」として各地区にまちづくり委員会が発足し、地域住民の主体による「自治」、行政との「協働」が推進されてきました。また、地区の将来ビジョンであり、アクションプログラムである「鼎地区基本構想・基本計画」が策定されて、実現に向けた取り組みや事業が実施されてきました。

そこで、「鼎地区基本構想・基本計画」の実現に向けて、さらに、まちづくりや地域振興に対する意思をつなげていくため、これまでを振り返るとともに今後を考えていくうえで、(1)会長任期の思い出、(2)今後のまちづくりに期待することを鼎地区まちづくり委員会の歴代会長の皆さんからお聞きしました。紙面の都合で一部要約していますが、ご容赦ください。

塩澤 正義さん(会長任期…平成22～23年度の1期2年)

(1)会長任期の思い出
地域自治組織のより良い組織と運営を目指すとともに、第3次基本構想・基本計画の実現に向けて、住民協働による鼎地区の地域づくりに取り組まれました。県道青木東線、羽場大瀬木線の整備促進、幼

西塚 孝義さん(会長任期…平成24～25年度の1期2年)

(1)会長任期の思い出
10地区が協力しながら課題を一つ一つ取り組んできたことが懐かしく思われます。特に、鼎地区は面積が小さく道路も狭いことから、道路整備促進には力を入れてきました。松川切石大橋の開通や、県道青木東線の上山区の完工などがあり、他の路線も鼎地

区の総意として要望してきました。また、組合加入率の増加を図るために様々な施策を考えましたが、なかなかうまくいかず、これは現在も続いているようです。どんな問題でも10地区が力を合わせて推進していくことは今も昔も変わらないと思います。

(2)今後のまちづくりへの期待
基本構想基本計画にあるように、住みたい鼎、住んでよかった鼎となるように今後も更にまちづくりを推進していくことを期待します。また、開通予定となる三遠南信自動車道やリニア中央新幹線による大きな環境の変化も考えられ、鼎地区としての対応も必要と思います。公共施設の複合建設や道路拡幅延長の推進も大事です。今後、人口の減少や高齢者の増加等考えられますが、10地区のつながりを更に大切にし、協働を進めていっていただきたい。また、自然災害の防災面にも特に注力してほしいと願います。



まちづくり委員会へ寄贈された彫塑の「鼎」

澤柳 忠夫さん(会長任期…平成26～27年度の1期2年)

(1)会長任期の思い出
任期中の思い出は、鼎町が飯田市に合併して30年となり、平成26年11月に記念式典を行い、新たな気持ちで、まちづくりに取り組む契機としたこととです。

保育園の統合民営化では、鼎東保育園と鼎幼稚園の老朽化に伴い新園舎の建設が進み、旧JA鼎支所の跡地に決まりましたが、補助制度の変更もあり民営化が進めることになって地区の皆さんに了解を得たことです。

未満児保育、延長保育の充実や、安心安全な園舎づくりにも参加したことは、地域の子育て支援に貢献できたと思っています。

(2)今後のまちづくりへの期待
今後のまちづくりに期待することは、鼎地区の基本構想・基本計画に基づいて将来の地域の在り方、住みよい地域づくりの取り組むことを基本に進めること。鼎地区は、人口密度も高く、隣近所の付き合いを大切にしている地域であることを期待しています。

別画
特企
歴代会長に聞く!

水口芳昭さん(会長任期:
平成28~29年度の1期2年)

(1) 会長任期の思い出

基本計画の実現では、10地区の意見掌握とそれぞれの調整に戸惑うも、社会や地域住民のより良い生活環境になるよう、各区長の意見を聞きながら、議論し、計画を立てました。特に委員会では、独自の権限や予算が充分でないため、手段において難しい面が多々ありました。立案については、行政の計画に沿った内容が必要であり、鼎地区の独自性のある案件とならず、苦戦しました。

(2) 今後のまちづくりへの期待
自治と行政の協働は大切なことである。行政の次期計画立案においては、事前に各自治体の意見等を掌握し、飯田市基本構想の計画が立案できることが望ましい。また、権限(責任を持つ範囲)の予算を各自治体の申請制度として、自治体自ら地域を良くする「住みやすい街づくり」とする自立性を持たせることが大

事である。今のままでは、行政の下請け感が強く、飯田市の発展に寄与しないと思いますので、見直しをお願いします。

安田完爾さん(会長任期:
平成30~令和元年度、令和2~3年度の2期4年)

(1) 会長任期の思い出

少子高齢化社会で生活様式が多様化し、自治活動にも様々な影響を危惧しています。特に組合加入率の減少傾向には、持続可能な地域づくりの視点で、常に危機意識をもち組織対策に努めてきました。鼎ホームページ開設による情報発信は、未加入世帯の加入促進効果を期待しています。重要課題として鼎文化センター(存続や県道青木線下山工区拡幅等、時期を逸すること無く一定の成果をもって次に繋げられました。

第4次基本構想・基本計画策定では関係者のご協力の賜と感謝致します。
初代専任会長は今後のモデルに。
(2) 今後のまちづくりへの期待
「鼎ブランドで魅力アップ」鼎地区の発展こそが飯田市の



鼎地区の12年間の将来を見据えた「まちづくりアクションプラン」の第4次 鼎地区 基本構想・基本計画



将来構想の要役になれると期待するものです。今の第4次基本構想・基本計画の具現化が、将来に持続可能な「人・暮らし・文化が潤う夢あるかなえ」像をもった、活力と魅力ある地域づくりに繋がると確信します。2030年に向けて4年毎に検証、見直し工程が、目指す「農工商住」の調和がとれた、輝く街づくりの実現が図られます。また、飯田市の「3重中心エリア構想」にも注視し、将来を見据えた鼎未来ビジョンの更なる創造へ発展させることが重要と考えます。

前田雄二さん(会長任期:
令和4~5年度の1期2年)

(1) 会長任期の思い出

任期の令和4年からはコロナ禍が沈静化しつつも完全な収束が見込めない中、手探り状態で人的な交流事業を再開しました。地域社会の環境の変化から現在の自治組織として制度疲労が顕著に表れてきました。第4次基本構想基本計画の前期の検証と、重要課題と取り上げた持続可能な組織改革では2回の調査結果からの分析と考察により、目指す改革の方向性を導き出しました。

(2) 今後のまちづくりへの期待
鼎地区は居住環境に恵まれてはいるが、都市化の傾向から組合加入率の低下が顕著となります。住民主体の認可地縁団体としては、この傾向の歯止めには限界があります。しかし、鼎地区で飯田市と協働自治を行う市民組織は、自治会で構成されたまちづくり委員会以外にはありません。組織の体質や従来からの慣例的な事業運営を見直し、持続性を高める取り組みと喫緊の課題では自主防災力の強化をお願いします。

鼎地区新春放談会

1月12日に鼎文化センターで開催された「鼎地区新春放談会」では、令和4年度にスタートした「鼎中学校ジュニアボランティアアステーション」の取り組みを中学生自ら発表され、来年度の取り組みへの思いが語られました。そのほかにも、下伊那農業高校の食品化学科の生徒の皆さん、二十歳の集い実行委員、鼎ホームページを担う若者、赤十字奉仕団鼎分団の幹部の皆さんと多彩な発表がありました。多種多様な関わりからの活性化が期待されます。



3年目に入る鼎中ジュニアボランティアステーション

生活安全

一年を振り返って

委員長 日置裕造

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、本来の活動を滞りなく行うことができました。生活安全委員会の活動にご協力いただきましたみなさまに心から感謝申し上げます。

私は委員長を拝命以来、常に安全運転を自分に言い聞かせ、見本となることを心掛けてきました。教習所の基本を思い出し、絶対に無事故・無違反でと緊張する毎日です。

さて、県を東西に伸びる通称「鼎さわやかロード」の制限速度は時速40kmです。切石方面からは下り坂となりアクセルを踏まなくても制限速度を超えてしまいます。私がブレーキを踏むと後続車はどんどん追い抜いていきます。

せまい道ばかりの鼎地区です。基本に立ち返り、必ず制限速度を守り、ゆとりを持って歩行者に優しい運転を心掛けてまいりましょう。自転車に乗るときは、ヘルメットを被ることも忘れなく！

視察研修

上茶屋支部長 下平泰人

11月24日(金)、鼎地区生活安全委員は愛知県警察本部への視察研修を実施しました。

10時過ぎに県警本部へ到着。まず、ビデオ視聴室で愛知県警の活動と活躍を視聴しました。

次に、巨大な司令室を見学しました。数十の電話受付施設、パトカーの位置情報をリアルタイムで表示する巨大なモニター、情報処理、指令機が整然と並び指令室は圧巻でした。続く交通管制センターでは、リアル信号機が置いてあり、実際の大きさに皆、しきりに感心していました。また、同所にある道路交通情報を提供するラジ



オ放送施設からの放送の様子を見学することができました。最後に、警察の活動の展示がされている広報施設「コノハズク広場」を見学しました。実際の白バイへの乗車、シュミレーターなどを体験できたことは良い経験でした。視察研修では、警察活動の一端を垣間見ることができ、我々生活安全委員会も微力ではありますが、その一翼を担っていることを意識することができたことが何よりの収穫でした。

年末の交通安全運動が実施されました。

年末の全国交通安全運動初の12月15日(月)に、切石体育館前交差点にて人波ルート作戦を実施しました。

のぼり旗を掲げ、ドライバーや歩行者に交通安全の啓発を行いました。

また、12月17日(土)には、切石体育館前交差点で交通指導所を開設しました。

赤信号で停止しているドライバーに啓発物品を渡し、安全運転を呼びかけました。



まさか！に備えて

令和6年度 交通災害共済 に加入しましょう!!

- 年会費 1人400円
- 見舞金 実通院日数2日以上 2万円～
入院10日以上 10万円～
死亡 100万円



飯田市にお住まいの方なら、誰でも加入することができます。令和6年3月末までに加入すれば、同年4月1日から令和7年3月31日まで、4月以降加入の場合、会費納入の翌日から令和7年3月31日までが会員の期間となります。

市役所会計窓口・各自治振興センター・りんご庁舎市民証明コーナー・市内金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く)にてお申し込みください。

健康福祉

生きがいを持って
暮らせる地域に

委員長(上山)
細井ひろみ

元日には、能登半島地震が起き、多くの高齢者が避難所の掃除をしたり、幼児の世話をしたりして、助け合いながら避難所生活を送っていて、いざとなったら全員で力を合わせるんだという気持ちがひしひしと伝わってきました。他人事とは思えない大規模災害を受け、お互いに助け合い、支え合える地域づくりのために、若者も高齢者も同じ方向に向かって活動を進める時であると感じました。

す。しかし、人は年を取り、病気にもなります。鼎地域でも少子高齢化が進み、「支えられる人」が増えている一方「支える人」が減ってきています。今後、この状況はさらに進むでしょう。

地区の活動などに積極的に参加して、人との繋がりをもち続けましょう。

健康講演会「お口の健康を保つためには」に参加して

地域健康福祉部会長
(名古屋) 吉澤 勝正

12月3日に鼎公民館で健康講演会を行いました。健康福祉委員と一般の方約40名が参加し、いずみ歯科クリニックの熊谷泉院長より、歯周病予防の話とお口の体操、高齢者向けの歯の予防と健康寿命についてお聞きしました。

先生によると、長野県の健康寿命は男女ともに日本で、健康長寿であるためには、歯の健康が大切だそうです。

80歳以上になると、歯周病が原因で大切な歯が抜けてしまい、残っている歯が5本以下の方が大半だそうです。

歯周病の症状が重くなると、歯周病菌が体に回り、心筋梗



塞や糖尿病などの様々な病気を引き起こす原因になるそう
で、お口の健康が、体の健康にも大きく関係していることが分かりました。

歯周病を予防するには、毎日の食後の歯磨きや、定期歯科検診が重要だそうです。私も今までは、治療のための歯科通院でしたが、予防歯科通院も大切であると感じました。

令和5年度の各支部事業報告

◎健康づくり教室

- ・ストレッチ ・ヨガ体操 ・筋力トレーニング
- ・フレイル予防体操 ・姿勢計測
- ・認知機能向上に役立つレクリエーション
- ・高血圧や認知症に関する講話
- ・お口の健康講話 ・熱中症の話
- ・健康長寿のための食生活のポイント講座
- ・「歩こう 動こう プラステン(+10)」の話
- ・特殊詐欺についての講話 ・茶話会 など

◎世代間交流

- ・七夕飾りづくり ・納涼祭(花火)
- ・クリスマス会 ・おんべ飾りづくり
- ・ペタンク大会 など

◎高齢者外出支援

- ・納涼祭 ・日帰り温泉、バイキング
- ・自宅訪問(物品支援) など

◎ふれあいサロン

- ・ヨガ体操 ・ストレッチ ・マッサージ
- ・脳トレ ・健康講話 ・お花見
- ・ペタンク大会 ・運動会 ・クリスマス会
- ・お楽しみ会(交流会) ・歌を唄う など

◎見守り支援

- ・242名の高齢者の見守り、家事支援など

～詳しくはお近くの健康福祉委員まで!～

「あれまあ!
「こんないいものを」

下山支部長
宮島 肇

「ありがとうございます。去年もいただきましたね。」

「あなた、まだお若いからこれから頑張つて。風邪に気をつけてな。」

「羽子板の羽根、なつかしいなあ。昔やったなあ。」

「やっぱり一年間健康でいな
いといかんなあ。」

「よろしく言つていな。
中学生?これだけ描くのは
大変だよ。」



今年も絵手紙にミカンを添えてお配りしました。見守り支援の方たちのお話からは、ミカンより絵手紙が心に残つておられるようです。来年もお配りできるといいなあと思います。

環境衛生

2年間の活動を終えて

委員長 今牧宏益

環境衛生委員長として2年間活動させていただきました。この間、各支部長、各女性部長をはじめ各委員、事務局等多くの皆様に大変お世話になり感謝しております。ありがとうございます。

1年目は、コロナ禍の中で始まり、活動への影響が多少ありましたが、計画通り実施することができたと思います。その中で、水辺等美化活動では、参加者の高齢化で石につまずく等、ケガを心配する様子が目立ってきております。これからのように実施していくか検討する必要があるのではないかと思います。

また、リサイクルステーションでは、実施日が決まっております。雨の日、雪の日等天候

に関係なく屋外で実施していただきますので、身体に十分気を付けて活動していただくようお願いいたします。
2年間ありがとうございました。

全市一斉水辺等美化活動



雨のリサイクルステーション



アルミ缶 収集事業

鼎地区では、皆様のご理解とご協力により独自事業として、リサイクルステーションや各地区公民館でアルミ缶収集事業を実施しています。今年度は400袋を超えるアルミ缶を回収することができました。これは、皆様のリサイクルへの意識が高いことと、事業を運営してくださっている役員の方々のおかげです。ありがとうございます。

アルミ缶の売上金は、各地区に配当させていただき、環境衛生事業に役立てられています。また、子どもたちの環境に関する意識を高めてもらいたいという願いから、2月28日に鼎小学校と鼎中学校へ図書カードの寄附も行いました。実際に、毎年環境に関する図書の購入をしていただいておりますので、子どもたちにも環境について身近に感じてもらえると嬉しいです。

コロナ禍真つただ中の時期は、家飲みをする機会が増え収集量がとても多くなりました。その時期に比べると収集量は減っているものの、この事業が継続できているのは皆様のご協力のおかげです。来年度も引き続き収集事業へのご協力をお願いいたします。

●令和5年度アルミ缶売上各地区分配金一覧●

年間取引金額 713,900円		
区名	収集袋数(袋)	支給金額(円)
下山	30	45,742
東 鼎	39	57,964
西 鼎	29	44,384
下茶屋	5	11,790
中 平	10	18,580
上茶屋	39	57,964
切 石	13	22,654
上 山	117	163,894
一 色	122	170,684
名古熊	8	15,864
鼎小学校寄付	-	50,000
鼎中学校寄付	-	50,000

※支給金額 各 区…均等割額5,000円+袋数割額
小中学校…各校50,000円



鼎中学校



鼎小学校



図書カード寄付の様子



署団合同訓練

12月1日(金)の夜に飯田広域消防本部にて署団合同訓練を行いました。この訓練は消防署からレクチャーを受けつつ火災や地震等の災害時における知識を学ぶもので、今回は災害図上訓練(DIG)、応急救護訓練、瓦礫からの救助訓練を行いました。



これらの訓練内容はどちらかというと地震や大火などの

広域的な災害に主眼をおいたもので、幸いにも実戦で使用したことはありません。

しかし、その一か月後に能登で地震が発生したことを考えると、訓練として経験しておくことの大切さを感じました。

出初式

1月8日(祝日)に、飯田文化会館にて飯田市消防出初式が開催されました。

今回の式典は、元日に能登半島地震が発生してから間もない日に開催され、いかなる状況においても災害が発生しうるということを多くの参加者が実感する中での式典となりました。

なお、コロナ禍前までは例年実施していたパレードは今年度より実施せず、木やり、纏振りは文化館内で行われました。例年とは違う形式となりましたが、館内には多くの団員が集まり、コロナ禍が過ぎたことを実感する式典となりました。

来年度におかれましては多くの消防行事が行われることが予想され、地区の方々にもご協力いただく機会が多いか

と思われませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

切石おんべ警護

1月7日(日)に大袋グラウンドにて行われた切石地区のおんべにて警護活動を行いました。

当日は風が強く、火の粉が次々と松川の方向へ飛んでいくのでヒヤリとする場面もありましたが、火災の発生につながることはなく無事終了しました。

まだまだ空気が乾燥した季節が続きます。皆様もたき火を行う場合、特に風が強い場合には別日での実施を考慮していただくなど、十分注意して実施していただければと思います。



新入団員勧誘活動

令和5年度を振り返ってみると、今年度は新入団員の勧誘を積極的に行った年度かと思われました。

具体的には班ごとに戸別訪問を行って勧誘活動を行い、今年度は各地区区長様にもご協力をいただき、戸別訪問の際に随行していただくなどのご協力をいただきました。

ご協力いただいた甲斐もあり、入団に好意的な方を少なからず見つけることができました。

また、戸別訪問を行うことにより地域の方々への消防団の実情をご理解いただく機会ができたかと思えます。

ただ、それでも未だに団員数が苦しい状況が続いており、そもそも火災現場は多くのマンパワーが必要とされる現場でもありますので、引き続き勧誘活動を行う必要性を感じております。

勧誘活動に際してご協力いただいた区長様並びに地区役員様に対し、厚く御礼を申し上げます。

令和6年度 新幹部員

4月より以下の新体制でスタートします。鼎地区のために精一杯努めていく所存ですので、よろしく願います。

【分団長】

小林 拓磨(名古屋班)

【副分団長】

古瀬 俊明(自動車班)

【庶務部長】

亀山 泰行(自動車班)

【消防部長】

田澤 智也(東鼎班)

【庶務班長】

松尾 裕太(切石上班)

団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など) 気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

080-1294-5298

メール

rith_mish@icloud.com



一年を振り返って
委員長 小澤澄子

今年度は小学校・中学校の入学式に初めて参列することができました。コロナ禍が重くのしかかった3年間で、可愛い児童と誇らしげな生徒の入場姿を見ても、まだまだ油断できないと気を引き締めました。

登下校の見守りと挨拶、声掛けは通常どおり再開しましたが、鼎小学校で4月に開催された「子どもを育む委員・PTA役員紹介の会」は、リモート開催でした。

11月には、コミュニティスクール学校運営協議会主催で、鼎小学校創立150周年の記念式典が挙行されました。また、昨年2月にお別れ会をしたポプラの木の新芽が、子ども達と共に成長しています。

2月に開催された鼎の子

もを語る会では、「子どものために地域でできること」をテーマに、地域からの話題提供を行いました。

ジュニアボランティアステーションの活動では、中学生の活動への意気込みが地域の方々に伝わり、地域が元気をもらっています。

地域に目を向けると、6月に開催されたペタンク交流会では、矢高グラウンド一杯に集まった地区の方々の中で子ども達も共に楽しみました。

7月の体験学習事業では、鼎小学校第一体育館を使い、約100人の児童と保護者が「サイエンスショー」と「風船ロケットを作ろう」をテーマに学び楽しみました。親子の触れ合いがほほ笑ましい半日になりました。

各支部で実施している「子どもの居場所づくり事業」、「世代交流事業」、「体験学習事業」では、長年続いている事業に加えて、ニュースポーツや飯田市環境課、かざこし子どもの森公園、日赤奉仕団、消防団等とのコラボ事業を行いました。また、冬にはどんどこ焼きも実施することができました。

安全に一年間を終えることができ、活動を支えてくださった全ての皆様に深く感謝申し上げます。

下山
2年間の感想

この2年間は感染症の状況に注意しながら支部事業を行いました。

魚のつかみ取りをした事業では、子どもたちと一緒に串刺しした魚を炭火で焼きました。子どもも大人も上手に焼こうと意気投合し、互いの心が随分近づいたことに気付きました。

少子高齢化の中で、地域が次代を担う子どもたちと関わりを持ちながら育てていくことは、大変意味があり大切なことだと感じました。

子どもを育む委員会が益々



充実した事業を行い、子どもたちの成長に貢献し続けることを期待申し上げます。

下茶屋
親子活動

昨年の7月8日(土)に、下茶屋公民館の前庭で「親子でカレーづくり」が行われました。当日はカレーのみを作り、主食は各自持参しました。

野菜を切ったり、火をおこしたりと、普段はなかなかできない活動を実施し、大人18名、子ども27名の参加がありました。保護者の皆様が朝から準備をしていただき、本格的な「親子でカレーづくり」ができました。子ども達も舌鼓を打ち、非常に喜んで笑顔あふ



れる親子活動でした。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、規制が緩和されたことで、通常どおりの活動が徐々にできるようになり、諸行事も開催されるようになりました。その中で、鼎小学校第一体育館で開催された体験学習事業では、親子が一緒になって風船ロケットを作り、無我夢中で飛ばしたりして、おもしろい内容を親子で楽しめる活動でした。

私も2年間子どもを育む委員会に携わらせていただきました。今まで子どもに関わることのなかった自分が、貴重な経験をさせていただき、感謝しております。子どもは地域の宝です。これからも見守っていただきたいと思います。

